

平成 26 年

第 10 回
教育委員会会議録

行橋市教育委員会

平成 26 年 8 月 28 日(木)

教育委員会会議録

- 1 招集日時
平成 26 年 8 月 28 日(木) 14 時 58 分～
- 2 招集場所
市役所303会議室 (3階)
- 3 出席委員
委員長 蛭崎 隆男
職務代理者 末次 龍一
委員 水谷 知子
委員 金澤 精子
教育長 山田 英俊
- 4 欠席委員 無
- 5 出席職員等 灰田教育部長
山門学校教育課長
川中指導係長
井上学校給食課長
有松生涯学習課長
小川文化課長
橋本学校教育課長補佐
- 6 教育長事務報告
別紙
- 7 議題及び議事の概要
別紙
- 8 閉会 午後 17 時 12 分

平成26年8月28日

開議 14時58分

1 開会

○委員長 蛭崎隆男君

皆さん、お揃いのおようですので、平成26年度第10回教育委員会を始めます。よろしくお祈いします。

(「よろしくお祈いします」の声あり)

世間では、広島の大災害等がありまして、つくづく行橋は、そういうことがなくて、幸せだと思ひます。きょうも議題が物凄く多いおようですので、スピーディなご審議をよろしくお祈いいたします。

2 前回会議録の承認

○委員長 蛭崎隆男君

それでは、早速、前回の会議録の承認ということで、8回と9回の会議録ですが、もう既にお手元に届いてお思ひますが、お目を通されて、何かご意見とか変更がありましたら、挙手の上、よろしくお祈いします。末次委員、どうぞ。

○職務代理者 末次龍一君

8回の33ページの上から2行目です。言い回しですが、実現度・充実度3というのは、もっと高いのではないか、というところを、ないでしょうかとか、その下のほうもですが、ちょっとやんわりとした言い方にかえて頂きたいと思ひます。

○委員長 蛭崎隆男君

では、どういふふうにしましょうか。

○職務代理者 末次龍一君

ないでしょうかというふうに、やわらかい表現にお祈いします。

○委員長 蛭崎隆男君

橋本さん、いいでしょうか。やわらかく、でしょうかに、お祈いします。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

はい。

○委員長 蛭崎隆男君

ほかに何かございませんでしょうか。金澤委員。

○委員 金澤精子君

9回の会議録の6ページ、上から2行目。聞きそびれちゃったので、とありますが、恐らく一生懸命話した時に、こういう口調になったのではないかとお思ひますが、ちょっと軽いので、聞きそびれたのではないかとお思ひますので、というふうに。以後、私も言

葉遣いに気を付けたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○委員長 蛭崎隆男君

興奮して喋ると行橋弁が出てしまって、結構、そういうのは多いです。
ほかに何かございませんか。水谷委員。

○委員 水谷知子君

私もちょっと言葉の言い回しなのですが、8回目の5ページ、私の発言の初めのところですが、6月30日の教育推進協議会なんです、というところを、協議会についてですが、というふうにかえて頂きたいと思いますので、お願ひします。

○委員長 蛭崎隆男君

他にございませんか。

(「他にはありません」の声あり)

では、9回目もよございますね。

(「はい」の声あり)

それでは、議題2の前回会議録の承認は承認されました。

3 教育長事務報告

○委員長 蛭崎隆男君

次にいきたいと思います。3番目、教育長報告をお願いします。

○教育長 山田英俊君

7月26日の子ども朗読大賞、これについては、論語を述べるということで2年目になります。65名の小中学生が参加しました。小学生が59人、中学生6人で、中学生の応募が少ないので、今後、中学生の応募を増やしていきたいと考えています。

採択協議会については、臨時のときに、ちょっとお話ししました。

それから、8月2日に京築地区の女性管理者研修会というのがありました。飯塚のサポートセンターの安永先生という警察官の方がいらっしやいまして、最近の子どもの、いろんな難しい問題行動についての話がありました。

それから、3日の豊の国ふるさとミュージアム記念フォーラム、これは原賀さんという方がいらっしやいまして、これは京築アメニティというのを京築地区が県の事業で取り組んでいまして、その一環として、絵本作家の長野ヒデ子さんという方を呼んで、絵本を作ることになったきっかけとか、作って行って、という話を、私も聴いて帰りました。

それから4日の小中学校教頭研修会は、これは教頭先生にしっかりして頂かなければということで、臨時の教頭会でしたけれども、校長を補佐して、しっかり学校の教育課題について、解決して行って頂きたいという、そういう内容の話を私と室長と相談セン

ターで行いました。

5日の全国コミュニティスクール研究大会は下関でありましたが、これは山門課長と橋本課長補佐と指導室と行きました。いま蓑島小学校で学校運営協議会をやろうとしていますので、その、ひとつモデル的になるものを聴きに行こうということで行きました。

それから10日の、ゆくはし探検「馬ヶ岳をさぐる」が、雨のために8月23日に変更になりました。これは子ども10名で、本当は、その倍くらいいたそうですが、順延すると半分くらいに減ったということで、子ども10名、大人20名、市民学芸員が20名で、計50名くらいでした。新聞報道もございましたので、ご覧になった方もいらっしゃるかなと思います。

16日の歴史資料館資料寄贈式、これは後で、課長のほうから報告があります。小河さんという方が、24騎の一人の末裔ですけど、寺畔に実家があったということで、これは後で詳しく報告いたします。

19、20日に福岡県の教育長研修会が京都ホテルでありました。主な内容は、教育委員会制度改革の件です。これについては、また、ちょっとゆっくりしてから、どういうふうになっていくかというのを、研修したいと思います。そして実践発表が2例ありました。

それから、20日に小学生読書リーダー養成講座、これはいま図書司書さんと、それからコスメイトの司書と協力して、各小学校の4、5年生の2名ずつくらい、読書リーダーを育てるということで、4年目になりますが、講座が行われました。

21日にNHKのラジオ体操がありまして、700名くらいの市民の方が参加しました。お蔭で雨が降らずに実施できたのが一番良かったと思います。

この後、9時から、これに書いていませんが、トップアスリート事業ということで、野球部の40名くらいを集めまして、元ソフトバンクの柴原選手に来て頂いて、野球教室をして頂いています。

22日は、少年の船の出発式です。今年は、昨年よりも参加者が増えまして、40名にスタッフが15名で55名くらい参加しています。これは1日減らして、4泊5日にしています。理由は、5泊6日というと、教育委員会のスタッフが1日でも抜けるというのは、なかなか大変で、少し簡素化する方向でしようということで、1日減らしたところです。別段カリキュラムに支障があったわけではありません。むしろ今後とも、しっかり勉強していきたいと思います。

教育研究所の中間報告会が、市内は2人、泉小の中川先生と、延永小の森山先生、全体で5人の中間報告がありました。

25日にSL移転検討委員会をやりました。市民会館の隣にあるSLを、今後どういうふうを活用していくかということで、第1回目の委員会を行いました。これについて

は、一度SLの状況を調査して、その結果をもとに、また話し合おうということになっています。

26日は、中学生の英語宿泊体験が研修センターでありました。1泊2日で、6中学校から27名の生徒が参加しております。

そして昨日、エピペン講習会が行橋小学校でありました。60名くらいの教員が参加しています。

そして本日、防災食育センターの視察に、東京の福生市がおみえになっています。教職員のほうで研修会が今あっています。以上です。

○委員長 蛭崎隆男君

ありがとうございました。

何か、以上に関しまして、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

○職務代理者 末次龍一君

論語は、テレビに出ていましたね。

○教育長 山田英俊君

そうですね。

○委員長 蛭崎隆男君

小河氏の寄贈の件も新聞に出ていましたね。後でまた出てくるんですね。

○教育長 山田英俊君

はい。

○委員長 蛭崎隆男君

あと馬ヶ岳、いよいよ官兵衛が、この前の日曜日から九州に上陸していますので、いよいよ佳境になってきますので、今後が楽しみです。

他に、何かございませんか。

(「なし」の声あり)

では、以上で教育長報告を終わらせて頂きます。

4 議事

○委員長 蛭崎隆男君

それでは、議事に入らせて頂きます。

①議案第24号 行橋市教育委員会点検・評価報告書(案)について

○委員長 蛭崎隆男君

議案第24号 行橋市教育委員会点検・評価報告書について、学校教育課の橋本さんから、説明をお願いします。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

学校教育課の橋本です。議案第24号 行橋市教育委員会点検・評価報告書案について、ご説明させていただきます。すみません。着座して説明させていただきます。

資料は、点検・評価報告書という資料をご覧頂きたいと思います。7月24に教育委員会の中でご審議を頂きました点検・評価につきまして、7月28日月曜日に外部評価委員会を開催しまして、意見を頂いたところでございます。その意見を踏まえたところで、この点検・評価報告書を作成し直しております。

意見につきましては、資料の16ページから19ページにかけて、外部評価委員会の意見ということで、まとめさせて頂いております。また、各評価シートの中にも各項目ごとに意見が出たものについては、シートの一番右の点検・評価（外部評価委員）という欄に記載をさせて頂いております。また、評価、実現度・充実度に関する評価につきましては、教育委員会の自己評価から変更するような意見は、外部評価委員会の中では、ございませんでしたので、ご報告させていただきます。

それでは、個別の意見について、簡単に説明させて頂きたいと思いますので、資料の16ページをご覧ください。

まず、評価シートについてということですが、そちらのほうの後段の部分に書いておりますが、実現度それから充実度、4段階評価で行っております。これについては、今後の課題及び必要な取組みという欄がありまして、そこからその評価をどういう形でしたのかというのが分かり易くなっている。しかし、一部の評価項目においては、それらが自己評価と連動していないと思われる項目があるというふうに指摘をされたところがございます。これについては、評価シートの体裁だけではなくて、記載する内容、それと評価の整合性にも十分に注意して頂きたいというご意見を頂きました。

次に、2番目の教育委員会の活動についてですが、通常、教育委員会の会議の中で、皆さん、意見交換、それからそれぞれの方が出席された会議等の報告等を行って頂いておりますが、それについては、教育委員会の会議の中で完結するのではなくて、例えば学校行事等であれば学校現場のほうにフィードバックして頂ければ、学校のほうも今後の運営に反映できるので、そういう方策等を検討して頂けないかという意見が出されたところです。

続いて、3番目の教育施策の進捗状況と展望についてですが、1番目の学校教育における重点施策のうち、1番目の保・幼・小・中連絡協議会についてです。これは、平成25年度は年度末に教育委員会主催の保・幼・小連絡協議会を実施しました。これについて、評価を頂いたところがございますが、1回のみで開催ということで、今後、更なる充実を図るために、開催回数を増やすことも検討して頂きたいというご意見も頂いております。

また、2番目の読書活動の推進につきましては、本年度から第2次子ども読書活動推

進計画がスタートしますので、その計画が計画だけに終わらないように、計画を具現化して、着実に推進して頂きたいという意見を頂いております。

また、3番目のアシスタントティーチャーの配置事業ですが、このアシスタントティーチャーは、財政的な面から増員は難しいだろうというご意見なんですが、十分な成果が出せるように、どれだけ人数が必要なのかというのを把握して、配置できるように検討して頂きたいというご意見を頂いております。

次に、生涯学習における重点施策についてですが、1番目の校区公民館子ども講座です。年々、活動回数それから参加者数が増加しております。このことを見ても、子ども講座が充実しているということが伺える。そのかわり講座が充実すると、受講希望者が増えることが予想されますので、増えれば増えるほど、参加できない、それから漏れてくる子どもたちが出る可能性があるのも、その辺は工夫して、全ての子どもたちが隔たりなく参加できるように検討して頂きたいというご意見を頂きました。

2番目の行橋市インリーダー研修、子ども会育成連合会についてですが、昨今の地域コミュニティの脆弱化、あるいは地域のつながりが希薄になっている中で、子ども会に参加する子どもたちが少なくなっている、これを増やしたいというふうに課題として捉えているんですが、なかなかそれは困難だろうと。それで、ただ単に子ども達に加入して下さいと啓発するだけじゃなくて、いろんな角度から、結果的に子ども会に加入する子どもが増えるような方策を検討して頂きたいというようなご意見も頂きました。

それから、3番目の文化における重点施策についてです。

1番目に文化遺産の公開普及事業です。先程、蛭崎委員長が言われたように、官兵衛の力を借りてと言いますか、官兵衛の企画展を実施することで入館者が増えている。また馬ヶ岳の観光客も増えている。今回は、テレビ放映の主人公を取り上げるというチャンスをとらえて、増につながっているんですが、今後も市民ニーズを的確にとらえて、引き続き文化遺産の公開、普及に努力して頂きたいというご意見を頂いております。

最後に、教育委員会の点検・評価に関する全体の意見です。

先程言いましたように、外部評価委員会の中で、自己評価を覆すような意見はございませんでした。十分に実現度や充実度が上がっていないものの中にはあるんですが、いずれの事業も達成率が50%を超えている。その辺は評価ができるというご意見を頂いております。今後につきましても、困難な課題はあるんですが、引き続き努力をして、さらに教育行政が充実するように期待したいというふうに締め括りを頂いております。

全体的には、教育委員会の活動、それから事業に対して肯定的な意見を頂いて、事業そのものを否定したり批判するような意見はなかったと考えております。今後もさらなる取組みをして頂きたいという意見だったと感じております。

以上が外部評価委員会の意見となります。

今後のスケジュールですが、きょう、この案でご了承頂ければ、9月2日に市議会の9月定例会が開会されます。その開会日の本会議の修了後に、議長、副議長、それから文教厚生委員会の委員長、副委員長に報告をして、その後、ホームページで公開という流れになっております。

説明については以上です。よろしく申し上げます。

○委員長 蛭崎隆男君

では、市議会報告に向けて非常に大事な議決になると思いますが、只今の橋本さんのご報告について、何かご意見はございますでしょうか。金澤委員、どうぞ。

○委員 金澤精子君

すいません。細かいことですが、20ページの経過のところ、平成25年度というのはミスプリントではないかと思えます。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

すみません。失礼しました。

○委員長 蛭崎隆男君

そうですね。これはミスプリントですね。金澤委員、どうぞ。

○委員 金澤精子君

続けてですが、外部評価委員会で教育委員会の仕事を評価頂いて、大変良かったと思えます。それで評価シートの16ページ、その課題のほうです。後半の一部の評価項目において、今後の課題と自己評価が連動していないと思われる項目が見受けられた。これが外部評価の方々から頂いた意見だったと思うんですが、私も評価シートを見させて頂きましたが、例えば、どういったところを。一部で良いんですが、お願いします。

○委員長 蛭崎隆男君

橋本さん、お願いします。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

連動していないのではないかとこの指摘を受けた項目は、1項目でした。

12ページをご覧頂きたいのですが、事業としては少年の船、行橋市青少年派遣事業。この事業についてなんですが、今後の課題として、若者のボランティアによる運営を続けているが、行政としてスタッフの育成が必要であるということで、今後の必要な取組みを整理しているんですが、実際には、少年の船は実施している。実施しているんだったら、実現度は4ではないか。ただボランティアスタッフの育成が、まだ検討課題として残っているので、充実度が逆に3なんじゃないかというご意見を頂きましたが、これについては、口頭で説明した段階で、この評価について、納得して頂いております。

○委員 金澤精子君

ありがとうございました。

○委員長 蛭崎隆男君

教育長、どうぞ。

○教育長 山田英俊君

具体的には、スタッフを集めるのは大変なんですね。今回、参加者が26年は40名で、スタッフは16名ですが、中学生くらいで過去に何回も体験した子がいるんですね。そういう子をスタッフとして育てるために、今回2人、班長にしたんです。そうすると結構頑張っていて、本当に素晴らしい成長があって、今後もそういった形で中学生の、何度か小学生時代に経験した子については、育てていこうじゃないかと。そして中学生で育てて高校に行ってくれば、将来また、こういった社会教育の関係のリーダーとして頑張っていける子どもたちになっているかもしれないし、今までは、班長になるのは高校生以上で大学生だったんです。ですが、そういう方向で、今回、若者のボランティアの団員を育てていこうというところで、実際に今やっていますので、今後もそういう方向でいきたいなと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

他に何か、ご意見はありませんでしょうか。

私も1つ、16ページの左側、教育委員会の活動のところ、一番下に、学校行事等に関しては、学校にフィードバックがあまりないようなことになっていますが、これは具体的に言うと運動会や学校視察などに行っていて、ここで話し合ったことが現場にフィードバックしていないということを言っているのでしょうか。例えば運動会等で感じたこととかは、もっと自分たちに教えてほしいという現場からの声なんではないでしょうか。

○教育長 山田英俊君

これは現場の声ではなくて、評価の中で、そういうふうに評価委員が感じたということですね。ですので学校関係の事業になれば、もう殆ど指導室関係の事業が多いと思います。それが評価の内容を学校が事業の改善のためにとらえることができれば。これはホームページに掲載していますが、あえて校長会あたりにも下ろして、今後は、こういったことを評価していったら、実際こうなんだよというのを、例えば小中一貫校教育の推進のなかで今後の課題とか必要な取組み等を書いていますよね。こういうのを学校で理解するような方向でやっていこうと思います。そしたらそれがフィードバックになっていくと思いますので、そういう方向で、ちょっと検討します。

○委員長 蛭崎隆男君

内容が膨大ですが、何かございませんか。

金澤委員、元評価委員として、何かご意見とかありませんか。

○委員 金澤精子君

私は、委員長さんのおっしゃった、教育委員会で話されたことが学校にフィードバ

クという、このところが、ちょっと気になったんですが、学校訪問について、恐らく教育委員会で会議をもたれているだろうと思うんです。それというのは、教育長さんのほうから校長会や教頭会等に、やはりフィードバックされていますよね。

○教育長 山田英俊君

その通りです。学校訪問の中でも当然やりとりしていますから、校長は、それを聞いて、たぶんそれを学校経営に生かしていくでしょうし、またここで出た内容については、特にこれは学校に指導しなければならないという内容については、校長会におろしています。

○職務代理者 末次龍一君

学校訪問のときは、そこで意見を言って帰って、それ以外のところで、先程、運動会とか卒業式とか、そのときのここで出た意見をフィードバックというふうにとらえたという、そういうことですね。

○教育長 山田英俊君

そうです。

○委員長 蛭崎隆男君

僕もそう思ったんですが、やはり現場の先生方も知りたいと思うんですよね。

○職務代理者 末次龍一君

僕らは、そんな大きな話でなくても、実際のところ卒業式などに行って、雰囲気良かったとかいう良い話も、そういうものも含めて言うのは良いことだと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

あと、何か全体的にご意見はありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

それでは、第24号議案 点検・評価報告書案について、承認頂けますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございました。承認されました。あとは間違いを直して、提出をお願いします。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

はい。わかりました。

②議案第25号 行橋市教育委員会外部評価委員の選任について

○委員長 蛭崎隆男君

では、続いて25号議案にいきたいと思います。

行橋市教育委員会外部評価委員の選任について。これも橋本さん、よろしくをお願いします。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

学校教育課の橋本です。議案第25号 外部評価委員会委員の選任について、ご説明いたします。資料に名簿を付けておりますので、ご覧頂きたいと思っております。

現在、近畿大学の永添教授と、それから西日本工業大学の山縣先生、それから小学校校長経験者の春田先生に委員になって頂いておりますが、2年の任期が8月18日で満了となっております。

従いまして、教育委員会といたしましては、引き続き、この3名の方に外部評価委員に就任して頂きたいと考えておりますので、この教育委員会でご承認頂ければ、就任依頼をさせて頂きたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○委員長 蛭崎隆男君

では、8月18日までの任期を終えて、そのまま3人に留任して頂きたいということですが、何かご意見はございますでしょうか。

教育長、何か補足はありませんか。

○教育長 山田英俊君

永添先生においては、最初からの評価をお願いしている先生でありまして、経緯もよく分かっていらっしゃると思います。山縣先生については、木山先生がどうしても忙しくなったのでということで辞められて、後任として選んだということですが、この方もご専門が評価ということですので。今回、金澤委員が教育委員になったということで、辞められましたので、後任に春田先生をお願いすることになりました。

いずれの方もしっかりとした考えを持って評価をして頂いておりますから、このまま継続でお願いできればと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

ご意見はございませんか。

(「なし」の声あり)

ということで、ご承認頂けますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

25号議案は、承認頂きました。

③議案第26号 行橋市公民館条例の一部を改正する条例(案)について

○委員長 蛭崎隆男君

続きまして、26号議案 行橋市公民館条例の一部を改正する条例案についてということですが、これは有松課長に説明をお願いします。

○生涯学習課長 有松正一君

議案第26号 行橋市公民館条例の一部を改正する条例案につきまして、生涯学習課の有松より説明をさせて頂きます。

現在、行橋公民館は行橋市中央公民館に併設されております。これは行橋市中央公民

館が出来た当初より、行橋公民館は、間借状態で公民館使用をしている状況が20数年続いているということがございまして、今回、この行橋公民館を外に出すという計画を本年度の当初より進めてまいりました。この条例改正は、その移転に伴う手続き上のものでございます。

別表1の項目であります、この中央公民館のすぐ下には、行橋市中央公民館行橋駅分館の表示がございました。この行橋駅分館に行橋公民館を移転するというを、今回実施しようということで、駅分館の項目を削除して、行橋公民館の所在地を西宮市二丁目1番7号に設置をするものです。駅分館につきましては、市全域の対象区域となっておりますが、この行橋公民館につきましては、校区公民館ということで、行橋小学校の通学区域の皆さんを対象にしているものでございます。

資料の次のページをお開き下さい。行橋公民館と行橋駅分館につきましては、有料の貸館業務を行っているということで、料金表の設定を条例において規定をしておりましたが、今回、別表2の中で、別表2が中央公民館の料金指定、それで別表3ですが、最後の部分で別表3を削るという表現になってはいますが、別表3が行橋駅分館の料金規定となっております。今回、中央公民館にありました行橋公民館の事務室と行橋公民館専用の4号会議室、この2部屋が中央公民館の管理のもとに置かれることとなりますので、その部屋を上から3番目の小会議室1、小会議室2、この2部屋を新たに設置しまして、料金設定をしたところですので。そして次のページの別表3を削るということで、行橋駅分館の各部屋の使用料の規定は削除するということになるわけでありまして。

この行橋駅分館の移転の実施につきましては、平成27年1月1日から施行ということで、計画をいま進めているところでございます。

説明につきましては、以上です。

○委員長 蛭崎隆男君

良く分からないところがありました。

○教育長 山田英俊君

中央公民館のトイレの左側に行橋公民館の事務室がありまして、その隣に第4研修室、これは行橋公民館の研修室だったんですが、そこをとりやめて、中央公民館の会議室にしようということです。その代わり行橋公民館を駅分館に持っていこうということで、これは4月から、うちのほうで、しっかり取り組んでいまして、それについて、一応区の方の了解をもらって、いま利用者団体も、あと10団体くらい話がつけば、殆ど了承頂けますので、いま動いています。

○委員長 蛭崎隆男君

駅分館が行橋公民館という名称になるんですね。

○教育長 山田英俊君

そうです。そして駅分館がなくなります。

○委員長 蛭崎隆男君

駅分館の名前がなくなるわけですね。わかりました。
何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

では、議案第26号の条例案も承認でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

④議案第27号 行橋市公民館条例施行規則の一部を改正する規則(案)について

○委員長 蛭崎隆男君

それでは、議案第27号の説明を、有松課長にお願いします。

○生涯学習課長 有松正一君

それでは、引き続き議案第27号につきましても、26号と同じく、行橋公民館の移転に伴う施行規則の改正でございますので、私のほうから説明をいたします。

文言の中で、第7条、第8条の中の中央公民館兼行橋駅分館という表現を行橋市中央公民館のみの表現に改めるということでございますが、この第7条第2項につきましては、使用料の減免規定でございます。

そして第8条につきましては、使用料の還付について、そして還付の決定通知に関する規定となっております。もう行橋公民館になりますと、料金を頂くことにはなりませんので、その部分を削除するという内容でございます。

次の様式3号から様式第5号までの規定というところにつきましては、料金の使用料の減免、使用料の還付申請、そして使用料の還付決定通知の様式を定めておりますので、その中の表現を行橋駅分館という表現を削除して、中央公民館のみとするための改正でございます。

○委員長 蛭崎隆男君

以上、ご説明の通りです。何かご質問はありませんか。

(「なし」の声あり)

では、これもご承認頂いたということよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、議案第27号は、ご承認頂きました。

⑤議案第28号 平成25年度教育費決算(案)について

○委員長 蛭崎隆男君

続きまして、議案第28号 平成25年度教育費決算案について、これは教育課にお願いします。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

学校教育課の橋本です。議案第28号 平成25年度教育費決算案についてでございます。

9月2日に行橋市議会9月定例会が招集されます。その中で、25年度の決算について、議会の認定を頂くことになっておりますが、その決算の概要について、報告をしたいと思っております。

まず、一般会計全体の予算についての決算についてですが、一般会計全体で歳出決算額が約266億円となっております。その内、最も大きな支出が民生費の102億円となっております。次に大きな歳出は教育費となっております。決算額といたしましては、39億9000万円。すみません、資料はございませんけれども、39億9000万円で、全体の歳出予算に占める割合は、約15%となっております。

それでは、教育費の詳細につきましては、各担当課長のほうから説明をいたしますので、よろしくお願いいたします。

○委員長 蛭崎隆男君

それでは、学校教育課長、お願いします。

○学校教育課長 山門裕史君

学校教育課の山門です。議案第28号 平成25年度教育費決算の案ですが、最初に学校教育課所管の決算報告の概要を説明させていただきます。

所管におきまして、歳出予算額につきましては、8億7317万7000円でありまして、決算総額としましては、8億3904万1096円で、繰越額が1090万9000円で、不用額が2322万6904円となります。執行率としましては、96.1%でございました。

決算の主な内容ですが、最初に10款1項1目、教育委員会費でございますが、予算額352万2000円に対しまして、決算額335万1460円ということで、こちらのほうは、主に教育委員さんの委員報酬、並びに外部評価委員さんの委員報酬、またそれと別に旅費ということで、例えば全国都市教育長協議会、昨年度は北海道の旭川市でありましたし、また教育委員さんの視察研修で岡山市等に行った旅費を執行させていただきました。

続きまして、10款1項2目、事務局費についてですが、予算現額としましては、3億6229万3000円に対しまして、決算額が3億5881万424円で、不用額としましては、348万2576円でございます。こちらにつきましては、教育委員会の学校教育課の職員の人件費、並びに昨年度までは広域のほうで給食センターがございましたので、そちらの給食センターの施設の維持管理費、またその人件費、賃金を執行させていただきました。

次のページをお願いします。続きまして、10款2項1目、学校管理費についてありますが、こちらについては、予算額2億1898万7000円に対しまして、決算額2億1206万7364円、不用額691万9636円でございます。

主な経費としましては、学校用務員さんや図書司書さん、また学校給食の補助員さん、これらの賃金、人件費を支出させて頂きました。また学校の修繕を行っております。小学校の整備でありますので、25年度につきましては224件の修繕の対応をさせて頂いたところでございます。

続きまして、委託料等につきましては、学校の警備であったり、そういったところに委託料として支出をさせて頂いております。

また、工事費についてですが、こちらにつきましては、特別支援教室の防水対策等を実施した経費を執行させて頂きました。また各小学校に対しまして、理科備品やサッカーゴール、また電子黒板等を購入させて頂き、配置をさせて頂いたところでございます。

先程申し上げました691万9636円の不用額が生じておりますが、主な要因としましては、電気代、水道代の減額、また消火設備の点検や警備保障委託への入札残という形になっております。続きまして、次のページをお願いします。

10款2項3目の学校施設整備費についてです。こちらにつきましては、予算現額8803万円に対しまして、決算額7120万2831円、繰越額818万7000円、不用額としまして、864万169円でございます。

先に繰越額の818万7000円についてですが、こちらにつきましては、昨年度、12月補正で延永小学校、椿市小学校、行橋北小学校の空調整備に関します実施設計の補正予算を計上しましたが、工期的に、どうしても25年度完了が見込めませんでしたので、26年度に繰越しをさせて頂いたものであります。この実施設計につきましては、本年度5月末で完了しているところでございます。

その他、学校施設整備費としましては、仲津小学校の防水の実施設計や泉小学校の給食配膳室の実施設計、また椿市小学校、稗田小学校のトイレ改修の実施設計等々、工事関係の委託料を執行させて頂きました。また併せまして、南小学校の体育館耐震改修工事と椿市小学校の体育館耐震改修工事を実施させて頂いたところでございます。

不用額につきましては、工事関係の入札残によるものでございます。

続きまして、10款3項1目の学校管理費ですが、こちらは中学校の部になります。予算現額1億6926万4000円に対しまして、決算額1億6777万1007円で、不用額149万2993円でございます。

こちらにつきましても、用務員さんの人件費や臨時職員、図書司書さん等々の人件費、また併せまして小学校と同様に修繕料の関係、中学校の場合は、25年度166件の修繕の対応をさせて頂いたところでございます。

委託料につきましては、先程申し上げましたように、小学校と同様に警備の委託等の執行をさせて頂きました。

不用額につきましては、職員賃金の就労日数の減によるものです。

続きまして、次のページをお願いします。10款3項2目、教育振興費ということで、予算現額215万5000円に対しまして、決算額215万2560円、不用額2440円でございます。

一番上段の市民体育館冷房使用料ということですが、こちらにつきましては、行橋市市民体育館のほうで卓球やバレー大会を行ったときの冷暖房の使用で、予算を執行させて頂きました。その他、中学校の体育大会等の補助金等の予算執行をさせて頂いたところでもあります。

続きまして、10款3項3目、学校施設整備費、こちらは中学校の分ですが、予算現額2720万円に対しまして、決算額2364万1750円、繰越額272万2000円、不用額83万6250円となっております。

先に、272万2000円の繰越額についてですが、こちらも小学校と同様に昨年度、12月に長狭中学校の空調整備を行うにあたりまして、実施設計の補正予算を計上させて頂いたんですが、工期が間に合わないということで、繰越しをさせて頂いて、長狭中学校の空調の実績設計についても5月末に完了しているところでございます。

その他、委託料としましては、仲津中学校の耐力度調査や建替えの基本設計、また地質調査に加えまして、行橋中学校、今元中学校、中京中学校の耐震診断の委託を執行させて頂きました。

最後ですが、11款3項1目、こちらは災害復旧費の関係の予算計上になりますが、予算現額としましては、168万2000円という形で予算計上しておりましたが、特段、災害復旧に対する経費については執行しておりませんので、執行率0%となっております。

大変駆け足で申し訳ありませんが、決算報告を終わらせて頂きます。

○委員長 蛭崎隆男君

ありがとうございました。

では、まず、最初に学校教育課についての今のご説明に、何かご質問、ご意見がございませんでしょうか。何か分からないところがあったら、言って下さい。

(「なし」の声あり)

それでは、後でまとめて決をとりますので、次に、指導室の説明を、お願いします。

○学校教育課指導室指導係指導係長 川中昌哉君

学校教育課指導室の川中と申します。それでは、学校教育課指導室、平成25年度決算の概要について、説明いたします。

所管における歳出予算額は4億2183万1000円で、決算額は4億891万8849円、繰越額はございません。不用額が1291万2151円となり、執行率は96.94%となっております。それでは、上から順に説明させていただきます。

10款1項2目、事務局費になります。予算現額が9716万3000円、決算額が9558万4387円、不用額が157万8613円です。主な内容としましては、幼稚園就園への奨励費補助や奨学資金の貸付により、経済的理由により就学困難な高校及び大学生に対する支援を行っております。

主な事業の内容は、幼稚園就園奨励費補助金、行橋市に住所を有する幼稚園生、831人に対して9148万円を奨励費として助成しております。私立幼稚園育成補助金、市内6園に対して60万円、補助をしております。あと市奨学金貸付金、25年度は大学5人分、高校2人分を貸付金として出しております。

続きまして、10款2項1目、学校管理費、これは小学校分になります。予算現額が1413万7000円、決算額が1409万758円、不用額が4万6242円。学校医の委託、児童及び教職員の検査及び健康診断等の委託を行っております。主な事業といたしましては、学校医の委託料、内科、歯科、眼科、耳鼻科、薬剤師、小学校11校に対してです。あと児童の心電図委託料、児童検尿、検便の委託料。小学校の教職員に対する健康診断の委託料になります。

続きまして、10款2項2目、教育振興費。予算現額は5063万2000円。決算額が4708万7563円、不用額が354万4437円です。学校の生活において、児童の怪我や事故に備えるための措置に係る費用負担や、経済的理由により就学困難な児童の保護者への援助を行っております。

児童の災害共済として、日本体育健康センターへの負担金、あと小学校の就学援助費、学用品費や給食費等の援助を行っております。

続きまして、10款3項1目、学校管理費、これが中学校分になります。予算現額が770万7000円、決算額が764万5945円、不用額が6万1055円。これは、先程説明しましたように、小学校分と同じように、これが中学校分になります。学校医委託、生徒及び教職員の検査及び健康診断等の委託を行っております。中学校の6校に対する学校医の委託料、生徒の心電図委託料、生徒検尿委託料、中学校の教職員健康診断の委託料になります。

次のページにまいります。10款3項2目教育振興費です。予算現額が4449万円、決算額が4059万615円、不用額が389万9385円。これは中学校分になります。学校の生活で児童の怪我や事故へ備えるための措置に係る費用負担や、経済的理由により就学困難な生徒の保護者への援助を行っております。

生徒の災害共済として、日本体育健康センターへの負担金、中学校就学援助費、先程、

小学校でもありましたように、学用品費や給食費等の援助を行っております。

次に、10款1項3目の教育指導費、予算現額が1億7757万2000円、決算額が1億7466万8864円。こちらは学校教育の総合的指導助言、及び研修業務の助成に関するものであります。また、行橋市児童・生徒相談センターを開設し、相談業務の充実を図っております。

主なものとしては、嘱託職員の報酬、これは行橋市児童・生徒相談センターの所長、行橋・京都地区教育研究所の所長、あと特別支援、教育相談室に特別支援教育アドバイザーを設置しております。あと事務員等がおりますので、この4人分になります。教育委員会の人件費6名分。特別な支援を要する児童・生徒に係るアシスタントティーチャーの賃金、学校で設置しておりますパソコンの機器賃借料や保守点検の委託料の金額になっています。

続きまして、10款1項4目の語学指導費でございます。現在、小学校への外国語指導助手を派遣し、英語の学力の向上を図るとともに、海外の生活習慣に関する知識の向上や理解の向上を図りました。

報酬としては、中学校に外国語指導助手を派遣しております講師2人分、あと小学校分の賃金、5人分、あと指導助手の住宅借上げ料を助成しておりますので、その借上げ助成金も入っております。

最後に、次のページであります。10款1項5目、適応指導教育費です。不登校の児童・生徒の学校復帰を目指して、社会性を身に付けさせ、個々に応じた自立を促しております。コスメイトと市役所の間で、消防署の横になるんですが、適応指導教室、ほほえみ教室を設置して運営しております。そこの指導員の報酬が3名分、あと九州大学の先生等、専門員をお呼びしての相談謝礼金、あと大学生の相談等も行ってございまして、それがヤングアドバイザーになります。そういったものの謝礼になっております。

以上で、学校指導室の説明を終わります。駆け足ですみません。

○委員長 蛭崎隆男君

指導室のご説明、ありがとうございました。何かご質問はありませんでしょうか。

1つ、僕からいいでしょうか。10の2の2ですね、小学校、それとその次の中学校の就学援助費というのは、この対象の人は何人くらいか、大方でいいですが、把握されておりますでしょうか。

○学校教育課指導室指導係指導係長 川中昌哉君

すみません。詳しい人数は、ちょっと・・・

○委員長 蛭崎隆男君

大体でいいんですが。実際は、生活保護の方でしょうか。

○教育長 山田英俊君

いえ、準要保護ですね。生活保護は、生活支援課が執行します。大体、12%くらいじゃないかと。

○委員長 蛭崎隆男君

結構ありますね。例の給食費の滞納とか。

○教育長 山田英俊君

滞納は関係ないのですが、給食費を市から補てんしてあげる。給食費と学級費と、それから修学旅行費や社会見学費、そういったものです。

○委員長 蛭崎隆男君

その都度、現金で要るようなものですね。

○教育長 山田英俊君

年間計画表を出して、それで出しています。

○委員長 蛭崎隆男君

12%くらいとは、結構ありますね。

○教育長 山田英俊君

12%というのは、ちょっと前のものなので、25年度はちょっと違うとは思いますが。

○委員長 蛭崎隆男君

大体どれくらいかなと思いましたが、ありがとうございました。

何かご質問はございませんでしょうか。末次委員、どうぞ。

○職務代理者 末次龍一君

この金額を見ていたんですが、子どもの家庭環境が結構、最近ニュースなんかでも、かなり生活が困難とか、食事も夏休みになると給食がないので、困難な子どもがいるという話を聞きますが、そういった補助とか援助が必要かなと思って見ていたんですが。

○教育長 山田英俊君

学校があるときは良いんですが、学校がないときに、家庭で昼食を食べさせてもらえない子も実際にいたりするわけです。そういったことに対しての、なかなか難しい部分があります。そこをどう支援していくかというのは、これから考えていかなければいけないかなと思います。

○職務代理者 末次龍一君

報告自体は、いいと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

いいでしょうか。

(「はい」の声あり)

では、指導室のほうを終わりたいと思います。

次に、生涯学習課にお願いします。

○生涯学習課長 有松正一君

生涯学習課の有松です。それでは、生涯学習課の平成25年度一般会計決算の概要について、説明いたします。

歳出予算総額は、3億3253万7000円に対しまして、決算総額は3億2573万9296円。不用額は679万7704円となっております。執行率は98%でございます。その主な内容につきましては、10款4項1目、社会教育総務費では、予算額7245万8000円に対しまして、決算額7115万1318円、不用額は130万6682円。この社会教育総務費では、社会教育の指導員さん、そして地域活動指導員さんなどの報酬、そして職員5名分の人件費が大きな支出となっております。

また、中央公民館で実施しております市民大学講座、地域ボランティア養成講座の謝金を、この項で支出しております。

そして大きな金額としては、いま文化振興公社に指定管理をしています研修センター、オートキャンプ場の指定管理料があがっております。ソフト的な部分といたしまして、青少年育成市民会議や子ども会育成連合会等の社会教育団体への補助、助成、そしてハードの部分といたしましては、研修センターの浴槽改修工事の設計費等がございます。

また、この項目で主な不用額につきましては、只今、職員1名、育児休業に入っております。人件費で111万150円の不用額が出ているところです。

続きまして、10款4項2目の公民館費でございますが、予算額1億4774万1000円に対しまして、決算額1億4309万5061円となっております。この公民館費の主な支出でございますが、公民館の館長さん、主事さん、27名分の報酬、公民館運営審議会の委員さん5名分の報酬で4400万円。公民館の維持管理運営に関する部分で、光熱費や電気料、そして冷暖房、清掃、警備、夜間業務の委託料などがございません。また、公民館の講座、事業に係る経費としまして、講師への謝礼などがございます。

そして公民館以外では、学習等供用施設、これは仲津校区にある22館につきまして、校区の皆さんに管理をお願いしておりますので、その指定管理料が104万円となっております。

ハード的な部分で工事請負費といたしまして、中央公民館の空調改修工事、行橋駅分館の改修工事等で5386万7870円の支出をしております。

不用額464万5939円につきましては、その主な内容といたしまして、需用費、光熱費の執行見込み減で、工事請負費の入札残によるものでございます。

最初は、この1枚しか資料がなかったんですが、今回、テーブルの上に置かせて頂いているペーパーが、体育関係の決算の資料になりますので、続きまして、その1枚物の資料をご覧になって頂きたいと思っております。生涯学習課No.2となっております。

それでは、2枚目の説明をいたします。

10款5項1目、保健体育総務費、これは体育に関する経費となっております。主な内容といたしましては、スポーツ推進委員、現在、26名に委嘱をしております。そしてまた社会教育体育指導員、いま体育係に1名配置しております嘱託職員さんの報酬が211万3400円、あと職員の給与2名分で1616万円。またソフトの面といたしまして、スポーツ教室の講師謝金、また大会の賞品代等を支出しております。

あと、現在、体育係内にございます体育協会の運営費の補助といたしまして、1332万円の補助金を支出しております。

市の主催事業といたしまして、スポーツフェスタを実施していますが、これは実行委員会ベースで補助金を支出して、実施しているところです。

主な不用額といたしましては、通信費の執行見込み残としまして、2万3430円の不用額が出ております。

続きまして、2目、体育施設費でございますが、予算現額7729万円に対しまして、決算額は7658万6552円、不用額は70万3448円となっております。この体育施設費は、私どもが管理しております体育施設の管理費、修繕費、工事費等でございます。中山グラウンドの管理を、現在2名の方に管理をお願いしております、その賃金が146万1016円、そして補修工事が69万9061円、グラウンドに関する管理費といたしまして、215万7225円、あと昨年いたしました大きな工事としまして、庭球場の人工芝の張替え工事が4229万5050円の支出となっております。

主な不用額といたしましては、工事請負費の入札残が49万5450円となっております。

以上で説明を終わります。

○委員長 蛭崎隆男君

ありがとうございました。教育長、どうぞ。

○教育長 山田英俊君

社会総務費の行橋・みやこ少年の船は、去年から行橋でやっているの、みやこを消して下さい。

それから、体育費のほうの3番目の多目的グラウンド・中山グラウンドと書いていますが、中山グラウンドはダブルじゃないでしょうか。最初に中山グラウンド等管理賃金と書いていますが、中山グラウンドは、委託料は払っていないんじゃないか、管理費だけじゃないかと。この3行目の中山グラウンドを消して下さい。たぶん間違いだと思います。

○生涯学習課長 有松正一君

そうですね。はい。

○教育長 山田英俊君

以上です。

○委員長 蛭崎隆男君

何かご質問はありませんでしょうか。

1ついいですか。研修センターは、建てて何年くらいになりますでしょうか。体育館と一緒くらいですか。

○生涯学習課長 有松正一君

昭和63年だったと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

もう25～26年になりますね。もうちょっと新しい気がしましたが、ちょっと聞いてみました。

○教育長 山田英俊君

それで、いま空調の調子が悪いので、来年、ちょっと工事を。実施計画を今年あげて、中央公民館の空調をやり替えないといけないと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

それと、しょっちゅう話題に上るんですが、オートキャンプ場の利用客は、どうなんでしょうか。

○生涯学習課長 有松正一君

私ども、教育委員会で運営管理する前は、料金設定がなかったにも関わらず、年間10数件だったんですけれども、去年は、件数では、もう200件以上の方が利用されて、人数も2500人くらいになりました。

○委員長 蛭崎隆男君

いまアウトドアブームだから、良いんじゃないかと思います。この前みたいに、河川で親子が車ごと流される事故があったりしていましたが、あんなことは絶対にないでしょうから。

○生涯学習課長 有松正一君

海岸線に近い関係、そしてまたすぐ池があります。ですので、その安全対策につきましては、議会からも指摘を受けておりますので、十分かと言えば、柵が低かったりというのがございますので、ただ、キャンプ場ですので、大体原則、自己管理、自己責任ということだと思っておりますが、ただやはり施設面で不備があれば、責任を問われますので、しっかりやっていきたいと思っております。

○委員長 蛭崎隆男君

その話は委員会で1回出たんですが、水際に柵を何とかと言いますが、柵をしてしまったら遊べないじゃないですか。何のためのキャンプ場か分からないから、そこら辺は、

やはり自己責任ということを強調したらどうでしょうか。そこまで訴えられても仕方がないですね。

○職務代理者 末次龍一君

アウトドアというのは、自然の中であるものですから、言われる通り、あまり構造物などを造られてもどうかと思います。

○教育長 山田英俊君

一応、文化振興公社のほうから要請もあったり、議会でもあったんですが、いま一応、去年からプレハブで管理施設を造っています。来年の3月、サッカー場が出来上がるときに、あそこに管理棟を造るという話になっていますので、もっとしっかりした管理棟が出来ただろうと思います。ただ、今言われたように、下のほうにある湧水池の管理については、今後も自己管理もあるけれども、危険がないようにしていきたいと思います。

具体的には、いま言った柵が低いということもありますが、その下に、できるだけ夜、降りられないようにするとか、そういうふうな形をとっていきたいと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

看板を作るとかですね。

何か、他にご意見はございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

では、次に、学校給食課の説明をお願いします。

○学校給食課長 井上淳一君

学校給食課の井上です。それでは学校給食課におきます、25年度の一般会計決算の概要について、ご説明申し上げます。なお昨年度の決算につきましては、学校教育課給食準備室ということで執行をいたしております。

所管における歳出予算額は、21億8319万1696円で、決算総額21億298万1096円、繰越額が0円で、不用額が8021万600円となりまして、96.3%の執行率となっております。目別の決算の概要を説明いたします。

10款6項1目の共同調理場整備費ですが、これは防災食育センター建設に伴うものでございます。予算現額20億2221万1696円に対しまして、決算額19億5515万6752円となっております。不用額といたしましては、6705万4944円となっているところであります。

主な内容といたしましては、防災食育センター建設に伴います建築主体工事、電気設備工事、給排水衛生工事、空調設備工事、太陽光発電工事、厨房設備の工事、物品の購入に伴います執行となっているところであります。一番大きなものといたしましては、建築主体工事の7億2805万円というところでございます。

不用額につきましては、こちらの防災食育センター建築工事費の入札残及び負担金の

執行残というふうになっているところでもあります。

次のページをお願いします。10款6項2目の共同調理場費です。こちらにつきましても、防災食育センター建設に伴う経費が主なものとなっています。予算現額1億6098万円に対しまして、決算額といたしましては、1億4782万4344円となっており、不用額といたしましては、1315万5656円となっているところでございます。

歳出の主なものにつきましては、まず人件費といたしまして、1194万2400円、それから防災食育センター建設に伴いまして、市内の小中学校に配膳台を購入して配置しているところでございます。その分の経費、1041万3480円、それから配送車両、配送車の買い替えを3台行っておりまして、その経費が1795万5000円、それから防災食育センター建設に伴う設備品、調理に伴う設備品の物品購入ということで、7687万7850円というふうになっております。

なお、不用額についてであります。配付しております資料に消耗品費及びと書いてありますが、恐れ入ります、こちらは消耗品費を削除して頂いて、需用費というふうに訂正方をお願いしたいと思っております。不用額につきましては、需用費及び備品購入費の執行残となっております。

簡単ですが、学校給食課からのご説明を終わらせて頂きます。

○委員長 蛭崎隆男君

ありがとうございました。

以上、学校給食課のご説明について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

(「ありません」の声あり)

では、次は、文化課をお願いします。

○文化課長 小川秀樹君

文化課の小川です。それでは、文化課の平成25年度一般会計決算の概要について、ご説明いたします。

文化課の予算総額は3億1125万7000円でありまして、決算総額は3億873万6923円に対しまして、不用額252万77円となっております。執行率は99.19%でございます。決算の主な内容を目別にご説明いたします。

まず10款4項3目、文化振興費でございます。予算額は2億3009万7000円、決算額は2億2290万9580円、不用額が99万7420円となっています。主な内容につきまして、給料等を除いたところで、主なものを説明させていただきます。

まず大きいものとして複合文化施設、コスメイト行橋の指定管理料がございます。次に、文化公演委託料とありますのは、小中学校へ文化団体が出向いて演奏会や伝統芸能を披露して、子どもたちに、そういう体験をしてもらうものでございます。

それから老朽化したコスメイト行橋内の機能整備を行っております。25年度は冷温水機の整備と文化ホールの照明設備の改修工事を行っております。それから文化振興公社補助金、行橋市文化協会の補助金、それから文化振興事業補助金、この文化振興事業補助は、校区の文化祭や行橋市連歌大会に対する補助金でございます。それから最後に行橋市美術展覧会に対する補助金がございます。

主な不用額は給料でございます、これは生涯学習と同様に、文化課の職員1名が育児休暇を取得したことによるものでございます。

続きまして、10款4項4目の文化財保護費でございます。予算額8116万円、決算額が7963万7343円でございます。不用額は152万2657円で、執行率が98.12%でございます。

主な事業といたしましては、前半に埋蔵文化財嘱託員報酬、調査作業員等々が出ておりますが、これは福原長者原遺跡や御所ヶ谷神籠石の発掘調査に関する経費でございます。

それから、大きな事業といたしまして、守田蓑洲旧居の修復工事を行っております。そして継続事業で行っているんですけども、文化財の市内の案内板の整備工事等を行っております。そして、稲童1号掩体壕史跡公園の用地購入を行っております。

主な事業については、以上の通りでございます。

不要額については、需用費がございまして、これは入札残でございます。

文化課の説明は以上でございます。

○委員長 蛭崎隆男君

ありがとうございました。

何かご質問はございませんでしょうか、教育長、どうぞ。

○教育長 山田英俊君

生涯学習課はいいんですが、この指定管理料の中に人件費が入っていますね。文化課のほうは、文化振興公社に対する指定管理料の中には人件費が入っていないで、補助金の中に人件費が入っているんですか。

○文化課長 小川秀樹君

各施設の職員の人件費は、指定管理料の中に入っています。例えば、コスメイト、文化ホール、歴史資料館。そして文化振興公社の全体を統括する事務局員の給料については、補助金のほうに入れていきます。

○教育長 山田英俊君

プロパーの人件費が補助金ということですね。

○文化課長 小川秀樹君

プロパー、プラス事務局長など、嘱託職員も含む事務局職員ということですよ。

○教育長 山田英俊君

そこは分かりにくい気がしますね。

○委員長 蛭崎隆男君

他に、何かありませんでしょうか。末次委員、どうぞ。

○職務代理者 末次龍一君

ここの複合文化施設、今の指定管理料のところで、先程の説明では、コスメイトの関係ということですが、下のほうにもコスメイト行橋というのがあります。複合文化施設というのは、コスメイトと下のコスメイト行橋の表現の違いは何だろうという話を今、金澤委員としていたんですが。

○委員長 蛭崎隆男君

文化課長、どうぞ。

○文化課長 小川秀樹君

これは、予算の項目立ての問題で、コスメイト行橋は通称でして、正式な条例上の名称は、複合文化施設ということになっております。その指定管理料ということでございますので、この予算が発生したときから、複合文化施設指定管理料という予算上の名目になっています。

施設の整備等々については、コスメイト行橋という言葉を使ったほうが分かり易いので、コスメイト行橋という名称を使っております。そういう予算の名称上の使い分けがなされています。本当は、一般の人が見たときに、どちらかに統一したほうが分かり易いかと思いますが、現状としては、こういうことになっています。

○委員長 蛭崎隆男君

1つ、いいですか。下のほうの稲童の第1号掩体壕の公園用地というのは、あそこはもともと市有地だったんですか。

○文化課長 小川秀樹君

稲童1号掩体壕は、私有地のままです。それをお借りするような形で賃借料を払ってお借りして、今までその上に公園整備を行ってまいりました。地権者が複数いらっしゃいまして、それぞれがかなり高齢化しておられましたので、やはり相続等の問題で、また私有地のままでしたら、管理上いろいろ不具合が将来的には生じてくるだろうということで、25年度と26年度、2ヵ年かけて、そこで土地を購入することにいたしました。

○委員長 蛭崎隆男君

相続を放棄してもらったら、お金が掛らないんですが。

いま後継者が分からなくて、どうしようもない土地がいっぱいあるみたいですね。所有者を探したけど、日本のどこにおるか分からないという土地がいっぱいあるようです。

○文化課長 小川秀樹君

ここの現地に関しては、しっかりおられます。

○委員長 蛭崎隆男君

1400万円も使うのは、もったいないなと思いますが。

では、他に何かございませんか。川中さん、どうぞ。

○学校教育課指導室指導係指導係長 川中昌哉君

先程は、すみません。先程の学校の就学援助費の人数の件なんですけど、調べてまいりました。小学校が651名、中学校が370名、計で1021名が25年度、就学援助を行っております、全体の児童生徒数が約5900名なので、全体の17%程度になっております。

○委員長 蛭崎隆男君

ありがとうございました。結構な額になります。6人に1人くらいですね。

○職務代理者 末次龍一君

まさに全国的に、そうだそうです。

○委員長 蛭崎隆男君

では、第28号議案のほうは、全て説明が終わりました。

全体に関して、何かご質問はございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

それでは、承認の決をとりたいと思いますが、ご承認頂けますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

28号議案は、ご承認頂きました。

ここで、5分くらい休憩したいと思います。

休憩 16時35分

再開 16時39分

⑥議案第29号 第3次補正予算(案)について

○委員長 蛭崎隆男君

それでは、お揃いになりましたので、引き続き、議案第29号を審議したいと思います。生涯学習課に説明をお願いします。

○生涯学習課長 有松正一君

では議案第29号、生涯学習課の平成26年度一般会計第3次補正予算の概要について、説明をいたします。

この補正につきましては、先程の条例改正の中で説明いたしました行橋公民館の移転に伴う経費的な部分で増額補正が必要になりましたので、その予算をあげております。

歳出予算既定額2億4589万8000円に、今回1044万1000円を増額し、

総額を2億5633万9000円とするものでございます。

内容といたしましては、10款4項2目、公民館費におきまして、平成27年1月より行橋校区公民館を、中央公民館行橋駅分館を閉館し、移転することに伴いまして、行橋駅分館のいま館長、主事、2人を雇用しておりますが、その内の館長の報酬、1月、2月、3月の3か月分の報酬、41万1000円を減額いたします。そして移転に伴う経費といたしまして、105万2000円、駐車場整備に係る経費といたしまして、980万円の増額補正を行います。

次のページに細かい数字を掲載しておりますが、公民館費の本年度の既定額は、9834万3000円です。それに1044万1000円を追加し、総額を1億878万4000円とするものです。館長さんの報酬費の減額が41万1000円、工事請負費が1020万7000円、そして備品購入費が60万円となっております。

○委員長 蛭崎隆男君

教育長、どうぞ。

○教育長 山田英俊君

これは表と裏の書き方が違うんで、移転に伴う経費と備品購入費と、ちょっと揃えられないですか。混乱しますよね。

○委員長 蛭崎隆男君

そうですね。

○教育長 山田英俊君

駐車場整備費が980万円なのに、工事請負費が1020万円。ちょっとそこを合せて下さい。

○生涯学習課長 有松正一君

はい。

○委員長 蛭崎隆男君

よろしいでしょうか。あと、ご質問はございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

では、今の表の数字を分かり易くかき直すということで、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

では、次に文化課の説明を、よろしくお願いします。

○文化課長 小川秀樹君

文化課の小川です。文化課の平成26年度一般会計第3次補正予算の概要について、説明させていただきます。

文化課の本年度予算既定額2億9171万円に、今回の補正額756万1000円を増額し、総額を2億9927万1000円とするものです。

補正の内容については、1枚目の資料でご説明したいと思います。補正は全て10款4項4目の文化財保護費でございます。補正の内容は3件ございまして、まず1件目、市内遺跡発掘調査事業の航空写真測量委託料、373万7000円を増額補正するものでございます。これは、福原長者原遺跡の国の文化財指定に向けた基礎資料として業者委託で200分の1の地形図を作成するものでございます。この金額の2分の1は国の補助が受けられます。

それから、2点目の県受託事業の発掘機械器具等の借上料、106万2000円を増額でございます。これは市内の草場上二ノ坪（クサバカミニノツボ）遺跡という遺跡を現在、発掘調査中でございますが、この遺跡が水田に隣接することもあり、水はけが非常に悪く調査経費が嵩んだために、調査費の増額補正をするものでございます。

この事業は、県農林の事業でございますため、増額した経費についても、全て県農林の負担ということになります。市の持ち出しはございません。

それから3件目、福原長者原遺跡南門広場整備事業として、276万2000円を増額補正するものです。これは教育委員の先生方にも以前、視察頂きましたけれども、現在、高速道路になっております南側に将来の高速道路の車線拡張のためにも、あらかじめネクスコが確保している用地があります。ここに以前見て頂きました福原長者原遺跡の国府の正門である南門の跡が残っております。これを高速道路が2車線化されるまでの間、遺跡広場として整備して、豊前の国府が行橋にあったことを子どもたちを含む多くの市民に知って頂くために整備費を増額補正するものでございます。

用地につきましては、ネクスコが無償で貸してくれるようになっております。以上でございます。

○委員長 蛭崎隆男君

ちょっと質問いたします。あそこは、いま上下2車線なわけですね。

○文化課長 小川秀樹君

片側1車線です。

○委員長 蛭崎隆男君

それが将来4車線というか、2車線ずつに拡張するわけですね。

○文化課長 小川秀樹君

拡張する計画ではあります。

○委員長 蛭崎隆男君

その拡張分が今の南門の所に被さるから、今のうちに皆で見ておこうということですね。

○文化課長 小川秀樹君

はい。

○教育長 山田英俊君

たぶん4車線化、片側2車線化になる、それはいつ頃になるかという話ですよ。100年先か、50年先か分からないので、その何十年の間お借りしてということですよ。

○委員長 蛭崎隆男君

もし5年くらいだったら、お金がもったいないなと思ったんですが、そのくらいじゃないですね。では十分、そのお金を使う価値があるということですね。10年、20年、30年は子どもたちに見て頂ける。

南門というのは、道路側の穴が沢山あいた一番大きな門のことですよ。

○文化課長 小川秀樹君

はい。

○委員長 蛭崎隆男君

何か、補正予算案について、文化課のほうに、何かご質問はございませんでしょうか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

それでは、29号議案に関しまして、決を取りたいと思います。ご承認頂けますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございました。以上で、議案第29号は、承認されました。

⑦議案第30号 教育委員会表彰について

○委員長 蛭崎隆男君

それでは、議案第30号 教育委員会表彰について。これは資料がありますが、小川課長に、説明をお願いします。

○文化課長 小川秀樹君

それでは、議案第30号の教育委員会表彰について、説明させていただきます。資料を1枚めくって頂きまして、教育委員会表彰についてという資料で説明させていただきます。

表彰候補者といたしましては、大嶋隆美さん。大隆工業株式会社代表取締役で、みやこ町の方でございます。この大嶋社長から寄附を頂いております。

寄附物件は、楽器が3点、金額にいたしまして40万円相当でございます。ユーフォニアム、それからマーチングスネアドラム、マーチングベストホルダーの3点です。

経緯については、今年の6月7日に市民会館で大隆工業さんの支援によって、コバケンさんと九州交響楽団の音楽会が開催され、その入場整理券の売り上げの一部を寄附したいという申し出を頂いて、このような楽器を頂くことになりました。

これらの楽器は、吹奏楽部をもっています行橋中学校において楽器が不足して十分な練習ができない状況であったために、同中学校に使って頂いて、吹奏楽部にて管理をして頂くということになっております。これによって、子どもたちの音楽活動の充実が図られると考えております。

表彰状の内容については、次のページに付けさせて頂いております。

教育委員会表彰についての説明は、以上でございます。

○委員長 蛭崎隆男君

何かご意見はございますでしょうか。これは何の問題もないですよ。

教育長、お願いします。

○教育長 山田英俊君

本当は、これは教育委員会が買ってあげなければいけないんじゃないかと思えます。2年前に、かなりの金額を出して、新しい楽器を買っています。当時、500万円か、もっと上だったと思います。実は、このユーフォニアムという楽器が2台、買ったのがあるんですね。生徒が70人くらいいますので、もう1台欲しいということで、現在、ヤマハさんに借りた形で使っているような形なんです。これで、保護者から、もう1台何とかならないかという要望もあって、学校のほうに相談しましたら、是非、このユーフォニアムを戻すので、1台欲しいということですので、今回、大嶋さんに相談して、実は、こうした形で寄附して頂きました。

実は行橋には70万円くらいの寄附を頂いていまして、その内の25万円については文化協会、それはうちのほうではないので、そういった音楽協会に5万円くらいの寄附をして下さっているようです。教育委員会関係の実際の学校にということであった、この40万円相当の分だけ、今回、表彰という形になりました。

○職務代理者 末次龍一君

ユーフォニアムとは、どんな楽器ですか。

○委員長 蛭崎隆男君

くるっと曲がった楽器ですよ。

○教育長 山田英俊君

チューバやホルンのような楽器です。

○委員長 蛭崎隆男君

何かご質問、ご意見はございませんか。

(「なし」の声あり)

では、議案第30号は問題ないということで、表彰状を、よろしく申し上げます。

5 その他

では、その他にいきたいと思います。何か付け加えるご報告はございませんか。

文化課長、どうぞ。

○文化課長 小川秀樹君

文化課の小川です。教育長が冒頭に小河さんから寄贈頂いた件について、ご報告しましたが、その補足をさせていただきます。

8月16日に小河浩さんという東広島在住の方ですが、ご実家は行橋市の寺畔にあります。この方が黒田24騎の1人であります小河伝衛門という方のご子孫というか、縁の方になるんですが、ご実家のほうに、それに関連するかなりの資料がございまして、それを一括してご寄附頂きました。寄附頂いたのは、お手元にお配りしました、この絵図と、その他、多数の古文書がございまして、きょうは、この絵図について簡単に説明をさせていただきます。

皆さん、ご承知のように黒田長政を支えた武将として24人の武将がおりまして、その24人と長政を加えた25騎を描いた画というのは、かなりの数が描かれて、いろいろな博物館等に保管されております。行橋の資料館にも、以前、吉永さんから寄贈された25騎図がございまして、この度もう1点増えたわけです。この絵図の中で、一番真ん中の上に描かれているのが黒田長政で、それから下が長政を支えた24人の武将になります。寄贈頂いた小河さんのご先祖になる小河伝衛門さんは、左の列の上から3番目の方です。ちなみに、その上が母里太兵衛さんです。右側の上から3番目が後藤又兵衛であります。

行橋に、以前吉永さんから頂いた絵図が19世紀の後半、幕末くらいのものでと推定されていまして、今度、小河さんから頂いたものは、それより100年くらい古い18世紀の中ごろのものでとされています。残念ながら、どなたが描いたのかは、分かっておりません。画の左側の下に、これは斎藤秋圃という方の署名があるんですが、実は、福岡県立美術館のお詳しい学芸員さんに鑑定して頂いた結果、このサインは、後の時代に書き加えられたものでとされました。だから斎藤秋圃という名前が記されていますけれども、斎藤秋圃が書いたものではなくて、斎藤秋圃の時代よりも更に古い時代の絵図であろうとされています。

いずれにしても、黒田家の24騎を語る上で非常に貴重な資料で、ご寄附頂いたことは、非常にありがたいことだと思います。今回そういう意味でご紹介させていただきました。以上です。

○委員長 蛭崎隆男君

ありがとうございました。今これはコスメイトで展示していますよね。

○教育長 山田英俊君

はい。コスメイトで並べて展示しています。

○委員長 蛭崎隆男君

続きまして、その他の件で、何か。金澤委員、どうぞ。

○委員 金澤精子君

8月22日に吉塚のほうで、福岡県女性教育委員研修会に初めて参加させて頂きました。少し報告させて頂きたいと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

どうぞ、お願いします。

○委員 金澤精子君

前半の芦屋町教育委員会の中島教育長さんの講義と、午後からの後半は協議会で、その協議会のなかでも、いろいろとお話があったのは、この研修会に参加させて頂くのに、それぞれの教育委員会の助成がないというか、自分の個人負担でやって来たとか、そういう方々がいる中で、行橋市は、ご紹介頂き、参加させて頂きまして、本当に感謝しております。ありがとうございます。

私は、教育委員になりまして、自分の立ち位置というのが良く分からなかったのも、大変参考になって帰って来た研修会でした。

講演の中で、教育委員会は、首長の下請け機関であって、そして市の教育行政を、それぞれの立場から、しっかり見据えて、意見を明確に述べていくものであると、そういうふうにお話された中で、自分は何のために教育委員になっているのか、委員会の中で、あるいは市の教育行政に、どういう発言をしていったら良いのかという、自分の立ち位置というのを今から見つけていって、そしてしっかりしなければいけないということを学ばせて頂いたことを報告させて頂きます。

芦屋町はとても小さい町で、小学校が3、中学校が1。だから行橋市と比べたら6分の1の状態です。そこで町を挙げて小中一貫を進めていると、お話の中にありましたが、あっ、行橋市も中学校ブロックで、この規模で小中一貫を進めているなど。市と比べながら聴いていって、もしかしたら行橋の郷土科とかコミュニケーション科というのは、この芦屋町よりも凄いものを実践しているのかなとか、比べながらも話を聴かせて頂きました。

これから先、またずっとずっと自己研鑽に努めていきたいと思います。以上です。

○委員長 蛭崎隆男君

ありがとうございました。

その件に関して、1つ、付け加えて良いですか。私も最初は、自分の居場所がよく分からなかったんですよ。1年か2年悩みまして、ある教育委員研修会の福岡教育大学の女性の講師の先生の研修会で、そのときの講師の先生の話聴いて、あっ、僕にも居場

所があったんだと、やっとそのときに分かりました。あの話を聴くまで、もう1、2年掛かりました。

だからPTA経験者とか学校教育経験者とかではなくて、やはり何でも公の人間として、何でも言えるというのが大事だということを、その先生に教えて頂いたんですね。だからあまり肩肘を張らなくて、僕もそれに気が付くのに1年くらい掛かりました。でも、あの先生の話をして聞いて、本当に良かったです。

○教育長 山田英俊君

いま教育委員会改革が行われていこうとしていますが、いろいろ論議をされて、結局、教育委員会が残るんじゃないかなと。いま言われた、レイマンコントロール、レイマン教育委員会というのを、やはり国が大事にしようという話になったみたいですね。それでやはり残って来た経緯があります。レイマンというのは、要は専門家ではないけれども、そういう意見をどんどん出して行って、そして教育の充実を図っていこうというのは、それがもう基本の考えみたいですので。でも、皆さん、その方面では凄腕の専門家ですから、特に委員長なんか医者としてお話を頂けると、いろんな意味で、意見を出してもらったら、それが充実になってくると思いますので、今後そういう形でやっていけたらなと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

末次委員、居場所がありますよね。

○職務代理者 末次龍一君

たぶん、水谷さんもそうだと思いますが、何で私かと、何で僕がと思ったと思いますが、逆にそういうのが大事なのかなと思いました。時々突拍子もないことを言いますが、今後ともよろしく願います。

○委員長 蛭崎隆男君

では、金澤委員の、またご活躍を祈っております。頑張ってください。

(金澤委員、頷く)

では、その他にございませんでしょうか。山門課長、どうぞ。

○学校教育課長 山門裕史君

学校教育課の山門です。実は来月の9月21日の日曜日に、1校だけ遅れておりました、蓑島小学校の運動会がございます。それで、蓑島小学校の運動会に関しましては、教育長と私ども事務局のほうで教育委員会としてお伺いしようかと思っておりますが、もし他の教育委員さんで是非一緒に出席しようという方がいらっしゃれば、一緒にという形で考えております。

○委員長 蛭崎隆男君

何時くらいですか。

○教育長 山田英俊君

8時半くらいに、早めに行こうかなと考えております。というのは、その日に泉小学校で、まちづくり協議会があります。泉小の出身者で早稲田大学の先生になっている方が講演会を10時からするようになっています。古谷先生が頑張ってお願ひしているようなので、それに行きたいなと思います。だから蓑島小に8時半から9時半くらいまでおって、その後、泉小に行こうかなと思っています。

○委員長 蛭崎隆男君

どなたか参加されたい方はいらっしゃいますか。

(特に発言なし)

○教育長 山田英俊君

もう私と事務局と行って、それで結構です。

○委員長 蛭崎隆男君

では、後で、体が空いたからという方は、連絡してもいいですか。

○教育長 山田英俊君

はい、そうして下さい。

○委員長 蛭崎隆男君

では、山門課長のほうに、もし参加したいということがあったら、連絡をお願いします。私は、ちょっと前の日に博多に泊まらないといけないので。

○教育長 山田英俊君

ちょっと来月の行事で言うと、6日に市P連の研修大会が9時からコスメイトでありますので、委員長はちょっと業務があるので無理ですが、これについては、もし行ける方がいらっしゃったら、行って頂けたらなと思います。

○委員長 蛭崎隆男君

場所は、コスメイトで、朝からでしたね。私は、ちょっと午前中は無理ですが。これは出欠を取るということですが、行かれる方はおられませんか。

(末次委員、金澤委員、水谷委員、挙手あり)

それでは、北小のほうに、ご連絡をお願いします。

○教育長 山田英俊君

開会式も、たぶん檀上にあがると思いますので、その関係で出欠をとりました。

○委員長 蛭崎隆男君

よろしくお願ひします。私は、北小の清水教頭に直接お断りを言いましたので、すみません。

他に何かございませんでしょうか。

○学校教育課指導室指導係指導係長 川中昌哉君

学校教育課指導室の川中です。今、委員の皆さんのお手元にお配りしております小中学生のための推薦図書。今回、小中学生の読書離れの解消の一環としまして、図書館教育担当者、図書司書さんのご協力を得まして、小中学生の推薦図書というのを作りまして、冊子にまとめております。全児童生徒に配る予定になっておりますので、きょうはお知らせという形です。

○教育長 山田英俊君

きょう、記者会見で記者発表しましたので、もしかしたら明日の新聞に載るかもしれません。

○委員長 蛭崎隆男君

大人が読むものも紹介してほしいのですが、坊ちゃんとか、芥川龍之介の鼻とか、これは大人にも通用しますよね。分かりました。

続きまして、何かありますでしょうか。橋本さん、どうぞ。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

すいません、今年度の教育委員会の先進地視察の件について、ちょっとご提案をしたいと思います。

きょう、机の上に1枚物の資料をお配りしていますので、ご覧頂きたいと思いますが、佐賀県の武雄市、それから熊本県の高森町、それから佐賀県の多久市ということで、ご提案をさせて頂いています。28年度に行橋市の学校に導入しておりますパソコンのリース期間が満了しますので、その後、タブレット端末にするのかどうかという検討課題が残っていますので、今年度については、ICT教育の先進地に絞って、提案させて頂いています。

もしよろしければ、どの自治体も先進的な取り組みをやっていきますので、事務局のほうに一任頂ければ、時期的には11月か1月、2月くらいで、この内のどこかの自治体、もしくは2つの自治体に行ければなど考えておりますので、もし事務局に一任して頂ければ、そのように手配したいと思いますので、よろしくお願ひします。

○委員長 蛭崎隆男君

これは研修視察とは、また別の話ですか。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

研修視察です。

○委員長 蛭崎隆男君

それは良いと思います。以前は、伊万里の教育委員会でしたね。武雄市も先進的な取り組みをしていますので、いいかもしれませんね。

事務局にお任せして、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

では、よろしくお願ひします。続けて橋本さん、どうぞ。

○学校教育課長補佐兼総務係長 橋本明君

もう1点、すみません。次回の開催の日程なんですが、9月は市議会の定例会がございまして、明日、正式に議会運営委員会がございまして会期等が決まりますけれども、今のところ、案としましては、25日が最終日の予定になっているようでございます。ですので、次の日の26日に開催できればと考えています。時間は13時15分からの予定です。

○委員長 蛭崎隆男君

皆さん、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

前の日は発達障害の講演会で、教育長が座長か何かされるんですね。

○教育長 山田英俊君

そうですね。是非おいで下さい。

○委員長 蛭崎隆男君

場所はどこですか。

○教育長 山田英俊君

医師会館です。時間は7時からです。

○委員長 蛭崎隆男君

一応、私は行く予定にしています。

では、次回は9月26日金曜日ということで、よろしくお願ひします。

最後に、何か他にございませんでしょうか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

では、第10回の教育委員会を以上で終わりたいと思います。

どうも、きょうはお疲れ様でした。

閉会 17時12分